

昭和58年秋季年会

講演予稿集

於水戸市民会館

昭和58年10月12日(水)~14日(金)

日本天文学会

日本天文学会 1983 年秋季年会

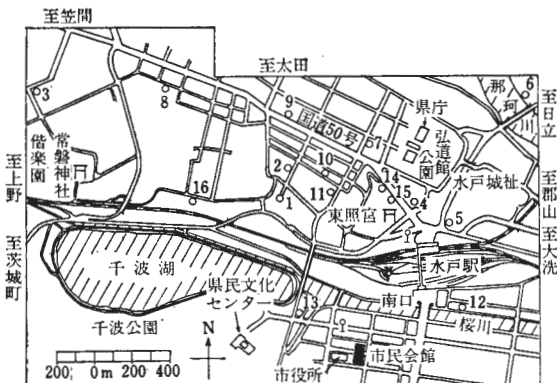
プログラム

月 日 昭和58年10月12日(水)~14日(金)

場 所 茨城県水戸市, 市民会館(下図参照) 会期中電話 0292 (25) 9391
〒310 水戸市中央1丁目 4-1

月 日	会場	午前				午後				講演番号	
		9時	10	11	12	1	2	3	4		5
10月12日 (水)	A	銀 河・宇宙論		内地留学 奨学金選 考委員会	銀 河・宇 宙 論						A 1~A33
	B	観測機器・情報処理			観測機器・情報処理						B 1~B30
10月13日 (木)	A	星間物質・星 雲		写 真	星間物質・星 雲 位置天文						A34~A66
	B	恒 星			恒 星, 太 陽		懇 親 会				B31~B64
10月14日 (金)	A	銀河系・恒星系 天体力学		理 事 会	高エネルギー天文学						A67~A99
	B	太 陽			太 陽 系						B65~B98

- ☆ 会場 A は3階大会議室, 会場 B は1階中会議室で併行して年会を行います。
- ☆ 講演時間は1講演8分間で, 講演者は割当時間を厳守して下さい。
- ☆ スライドは透視した時に正しい上下関係になるようにして, その手前側上方に講演番号と氏名, 映写順序番号を書き, 下縁に5mm位の幅の赤線をつけて下さい。ピラは用いず, スライドは講演時間内に終了できる枚数にして下さい。オーバーヘッドプロジェクターも用意しますので御利用下さい。
- ☆ 今回は講演開始が午前9時15分で, 終了は午後5時を予定しています。
- ☆ 12日午前の講演終了後内地留学奨学金選考委員会, 14日午前の講演終了後理事会を行います。
- ☆ 記念写真撮影は13日午前の講演終了後行います。
- ☆ 懇親会は, 13日の午後の講演終了後会館内披露宴の間で行なわれます。



(交通) 水戸駅南口から徒歩10分。

駅北側から南側に出る通路は駅構内架橋のみ。
駅北口からのバス利用は,
高島屋裏のバス停から(市役所経由路線)乗車
市役所前下車。

図中のナンバーは宿舎の所在地で, 宿舎について(宿舎名・宿泊費・電話等)は「天文月報1983年8月号」学会だより(219頁)を参照されたし。

会場 A (3階大会議室)

第1日 10月12日(水) 午前9時15分より 会場 A

- A 1 10GHz における $\text{Log } N\text{-Log } S$: 会津 晃 (立大理), 田原博人 (宇都宮大教育), 井上 允 (東京天文台野辺山)
- A 2 クェーサーの CO 吸収線探査: 高原文郎, 祖父江義明, 中井直正, 井上 允 (東京天文台野辺山), 田原博人, 加藤龍司 (宇都宮大教育)
- A 3 Edge-on Galaxies のミリ波観測: 植田龍男, 山縣朋彦 (東大理), 岡村定矩, 濱部 勝, 渡辺正明 (東京天文台), 長谷川哲夫 (東京天文台野辺山)
- A 4 Kinematics of Extended Radio Sources: 長沢幹夫 (京大理)
- A 5 BL Lac 候補の可視, 電波域観測: 田原博人 (宇都宮大教育), 井上 允 (東京天文台野辺山), 菊池 仙 (東京天文台)
- A 6 Mrk 297 中の変動電波源の光学的性質: 田村眞一 (東北大理)
- A 7 木曾紫外超過銀河の形態と紫外超過度: 高瀬文志郎, 野口 猛, 前原英夫 (東京天文台)
- A 8 紫外超過銀河の電波検出: 前原英夫 (東京天文台), 井上 允 (東京天文台野辺山), 高瀬文志郎, 野口 猛 (東京天文台)

(休 憩)

- A 9 A New Polar Ring Galaxy in Abell 1631: 谷口義明, 柴田克典 (東北大理), 若松謙一 (岐阜大工短)
- A10 M82 の分光観測: 佐々木 実, 齋藤 衛 (京大理)
- A11 扁長楕円銀河模型とその内部力学: 森田一彦 (北大理)
- A12 プロレイト型恒星系の力学的進化: 野口正史 (東京天文台)
- A13 銀河における Molecular Gas と Star Formation Rate: 中井直正 (東大理)
- A14 巨大分子雲のランダム運動について, II: 福長正考 (東北大理)
- A15 銀河ガスの非一様分布と渦状腕の構造: 土佐 誠 (東北大理)

第1日 10月12日(水) 午後1時30分より 会場 A

- A16 自己重力不安定による nuclear disk の進化: 田中 裕, 福江 純, 佐々木 実 (京大理)
- A17 回転する軸対称ポテンシャル中での星とガスの運動: 横沢正芳 (茨大理)
- A18 Gas Motions in Triaxial Potential. II: 羽部朝男, 池内 了 (北大理)
- A19 銀河に及ぼす銀河間ガスの動圧の効果 II: 隈井泰樹, 土佐 誠 (東北大理)
- A20 小マゼラン雲の自転軸の向きについて: 村井忠之, 藤本光昭 (名大理)
- A21 銀河間雲の熱的及び力学的進化: 梅村雅之, 池内 了 (北大理)
- A22 超音速乱流による原始銀河雲の分裂: 佐場野 裕, 土佐 誠 (東北大理)
- A23 Cosmological Infall の数値実験: 藤原隆男 (京大理)
- A24 宇宙重力: 石沢俊亮 (京大理)

(休 憩)

- A25 宇宙の missing mass と Pop. III Star remnant: 釜堀弘隆, 藤本光昭 (名大理)
- A26 Local Supercluster の回転について: 藤嶋康夫, 藤本光昭 (名大理)
- A27 超銀河集団のトポロジー: 松田卓也, 嶋 英志 (京大工)
- A28 Brans-Dicke 宇宙における A 項の意味: 福井尚生, 遠藤 信 (獨協大教養)
- A29 宇宙論的重力波と無衝突ガス系: 富田憲二 (広大理論研)
- A30 de Sitter 宇宙における量子場の反作用効果: 東 孝博 (獨協大教養), 和田純夫 (東大教養)
- A31 ニュートリノ優勢宇宙での密度ゆらぎ: 荒井賢三, 上西啓祐 (熊本大理)
- A32 Monopole の質量と宇宙における進化 (II): 伊沢瑞夫 (京大理), 佐藤勝彦 (東大理)
- A33 Cold Universe における元素合成: 寺沢信雄, 佐藤勝彦 (東大理)

会場 B (1階中会議室)

第1日 10月12日(水) 午前9時15分より 会場 B

- B 1 原子スペクトル線遷移確率のデータベース作成: 洞口俊博, 平田龍幸, 中村 哲, 中川善嗣, 中條将典, 西田 稔(京大理), 定金晃三(大阪教育大)
- B 2 木曾画像検出システムの改良(Ⅲ): 山縣朋彦(東大理), 前原英夫(東京天文台)
- B 3 30cm 反射望遠鏡の測光装置(データ処理): 佐藤英男, 西野洋平, 土屋 淳(東京天文台)
- B 4 硝酸銀浴法による IV-N 乾板の超増感(Ⅱ): 青木 勉(東京天文台)
- B 5 ISIT カメラの応用(Ⅲ)——流星と痕のスペクトル: 富田弘一郎, 斉藤馨児(東京天文台), 田中光久(福島大教育)
- B 6 偏光測光装置による高速測光・偏光観測: 飯塚吉三, 山口達二郎, 菊池 仙(東京天文台), 昆野正博(駿台学園高)
- B 7 サブビーム・プリズムを用いた微光星の光度校正Ⅱ: 征矢野隆夫, 西野洋平, 野口 猛(東京天文台)
- (休 憩)
- B 8 Low Background 比例計数管の試作: 奥村由治, 宮本重徳, 常深 博(阪大理), 中川道夫(阪市大理)
- B 9 CCD を用いた天体測光装置(Ⅰ): 高岸邦夫(宮大工), 面高俊宏(鹿大教養), 松岡 勝, 大田 誠(宇宙研)
- B 10 極紫外領域の分光測光実験装置について: 中桐正夫, 山口朝三, 田中捷雄, 西 恵三(東京天文台)
- B 11 気球搭載赤外線望遠鏡Ⅰ. 概要報告: 芝井 広, 奥田治之, 小林行泰, 山上隆正(宇宙研), 舞原俊憲, 広本 宣久, 水谷耕平(京大理), 矢島信之(機械技研)
- B 12 CERG A における恒星干渉計での γ Cas の角直径の限界: 野口本和(東京天文台), F. Vakilli, P. Granes, D. Bonneau (CERG A), 平田龍幸(京大理)
- B 13 岡山 91cm 望遠鏡によるスペックル天体観測: 馬場直志, 山本将史, 村田和美(北大工), 野口本和, 磯部瑠三, 垂本祐慈(東京天文台)
- B 14 75cm 経緯台式望遠鏡の製作(Ⅰ): 昆野正博, 大沢 寛, 篠原信雄, 瀬尾秀彰(駿台学園高), 法月惣二郎(法月技研), 池谷 薫(池谷光学研究所), 磯部瑠三(東京天文台)

第1日 10月12日(水) 午後1時30分より 会場 B

- B 15 非球面鏡の干渉検査法: 斎藤圭介, 小瀬輝次(千葉大工), 馬場直志(北大工), 磯部瑠三, 野口 猛(東京天文台)
- B 16 球面 SMT と MMT のためのズーム系: 山下泰正, 成相恭二(東京天文台)
- B 17 地球回転を利用した2次元電波太陽観測: 柴崎清登, 鰐目信三, 西尾正則(名大空電研)
- B 18 35GHz 帯太陽電波偏波計: 澤 正樹, 中島 弘, 関口英昭(東京天文台)
- B 19 デジタル FFT 分光相関器(FX)の調整と性能評価: 春日 隆, 近田義広, 石黒正人, 森田耕一郎, 平林 久, 森本雅樹, 半田一幸, 宮沢敬輔, 長根 潔, 村田和男, 東条 新, 井上志津代, 神沢富雄, 岩下浩幸(東京天文台野辺山)
- B 20 45m 鏡の温度測定: 赤羽賢司, 海部宣男(東京天文台野辺山), 榊原 修(三菱電機KK), 田中泰治(富士通KK)
- B 21 6m ミリ波望遠鏡の現状Ⅱ: 林 正彦(東大理), 面高俊宏(鹿大教養), 鈴木佐絵子(東大理), 宮脇亮介(東京学芸大), 兼八 薫(日本WG), 亀谷 収(東北大理), 趙 世衡(東大理), 長根 潔, 東條 新, 稲谷順司, 長谷川哲夫, 海部宣男, 宮沢敬輔(東京天文台野辺山), 他 NRO チーム
- B 22 東洋大学の 4m パラボラについて: 田中春夫, 下村純武(東洋大工)
- (休 憩)
- B 23 VLBI 遅延量における電離層効果の推定: 高橋富士信(電波研鹿島)
- B 24 K-3型 VLBI システムの予測値計算: 高橋幸雄, 高橋富士信(電波研鹿島), 真鍋盛二(緯度観測所)
- B 25 K-3型 VLBI システム・データベース管理ソフトウェア“KASTL”の開発報告: 吉野泰造, 小池国正(電波研鹿島)
- B 26 K-3型 VLBI 相関処理ソフトウェア(KROSS)の運用試験結果: 国森裕生, 近藤哲朗(電波研鹿島)
- B 27 K-3型 VLBI システム・バンド幅合成ソフトウェア「KOMB」の開発報告: 近藤哲朗, 国森裕生(電波研鹿島)
- B 28 Space VLBI——そのメリットと諸問題——: 平林 久, 森本雅樹, 近田義広(東京天文台野辺山)
- B 29 広視野プリーエ合成望遠鏡の像補正: 大師堂経明(早大教育)
- B 30 GPS 衛星時計比較データの処理システム: 山崎利孝, 藤原 清, 藤本真克, 青木信仰(東京天文台)

会場 A (3階大会議室)

第2日 10月13日(木) 午前9時15分より 会場 A

- A34 W5 領域の低温中性水素雲: 佐藤文男 (兵庫教育大), 福井康雄 (名大理), 長谷川哲夫 (東京天文台野辺山)
- A35 Cepheus A の構造: 鈴木左絵子 (東大理), 海部宣男 (東京天文台野辺山), 他 NRO チーム
- A36 L1551 の回転ガス円盤; その構造と成因: 海部宣男 (東京天文台野辺山), 鈴木左絵子 (東大理), 他 NRO チーム
- A37 $l=24^\circ$, $b=0^\circ$ 領域の H II 領域の環状分布: 半田利弘 (東大理), ほか NRO チーム
- A38 S235B 領域の CS 観測: 仲野 誠, 吉田重臣, 小暮智一 (京大理)
- A39 プライトリム領域の分子雲の CS 観測: 面高俊宏 (鹿大教養), 林 正彦, 鈴木左絵子, 超 世衛 (東大理), 長谷川哲夫 (東京天文台野辺山), 宮脇亮介 (東京学芸大), 亀谷 収 (東北大)
- A40 Ori A における星間分子の励起状態: 大石雅寿 (東大理), 海部宣男, 鈴木博子, 長谷川哲夫 (東京天文台野辺山)
- A41 Sgr B2 の分子スペクトルマッピング: 森本雅樹, 神沢富雄 (東京天文台野辺山), 他 NRO チーム
(休憩)
- A42 NGC 7538 分子雲の C¹⁸O 輝線観測: 平野尚美, 長谷川辰彦, 亀谷 収, 高窪啓弥, 谷口義明, 土佐 誠 (東北大), 関 宗蔵 (東北大教養)
- A43 NGC 7538 コア領域の分子輝線観測 II: 亀谷 収, 長谷川辰彦, 平野尚美, 関 宗蔵, 高窪啓弥, 谷口義明, 土佐 誠 (東北大)
- A44 HC₃N の超微細構造線による暗黒星雲の構造解析: 鈴木博子, 海部宣男 (東京天文台野辺山), 大石雅寿 (東大理)
- A45 Bipolar CO 流の中の源の光と赤外線の偏光: 佐藤修二, 田中培生, 長田哲也, 西田 稔 (京大理), 菊池 仙 (東京天文台), 川良公明 (マウントストロムロ・サイディングススプリング天文台), 小林行泰 (宇宙研)
- A46 MWC 297, 349, P Cyg の Br 分光観測: 山下卓也, 田中培生, 佐藤修二 (京大理)
- A47 宇宙超軟 X線 diffuse 成分の観測: 山下広順, 佐藤安栄, 清水 祥, 村井秀夫, 宮本重徳, 常深 博 (阪大理)
- A48 急冷炭素質物質と IR-unidentified lines: 坂田 朗, 和田節子 (電通大), 田辺俊彦, 尾中 敬 (東大理)

第2日 10月13日(木) 午後1時30分より 会場 A

- A49 急冷炭素質物質の光学定数: 田辺俊彦, 尾中 敬 (東大理), 坂田 朗, 和田節子 (電通大)
- A50 恒星風と星間気体の相互作用に関する相似解: 花見仁史, 坂下志郎, 梅村雅之 (北大)
- A51 衝撃波の累積圧縮過程による IMF: 吉井 讓 (東京天文台)
- A52 軸対称座標系での輻射輸送式の一般形: 兼古 昇, 前川 誠, 森田一彦 (北大)
- A53 オリオン KL 領域の流体力学的モデル: 奥田 亨 (北教大函館分校), 池内 了 (北大)
- A54 惑星はどんな星のまわりで生まれるか: 中野武宣 (京大理)
- A55 星間雲中での磁場の散逸と星の磁場の起源: 梅林豊治, 中野武宣 (京大理)
- A56 磁場を伴った回転ガスディスクの重力不安定: 中村卓史 (京大理)
- A57 外圧を受けた等温回転星雲の重力平衡: 木口勝義 (近畿大理工)
(休憩)
- A58 ガス雲の収縮と分裂: 観山正見, 林 忠四郎 (京大理), 成田真二 (同志社大工)
- A59 等温ガス雲の分裂の条件: 蜂巣 泉 (京大工), 江里口良治 (東大教養)
- A60 Spectral type による大気差の補正: 深谷力之助 (東京天文台)
- A61 観測方程式と誤差楕円体の関係: 中嶋浩一 (東京天文台)
- A62 LE 200 の月の黄経への補正值: 相馬 充 (東京天文台)
- A63 水沢 PZT 乾板常数の変動について: 北郷 拓, 後藤常男, 岩館健三郎 (緯度観測所)
- A64 ILS 極の永年移動と観測所変位: 菊地直吉, 岡本 功, 若生康二郎 (緯度観測所)
- A65 国内 VLBI 網による EOP 推定模擬実験: 酒井 俐 (緯度観測所)
- A66 自動アストロラープによる経緯度予備観測: 角田忠一, 坪川家恒, 坪川恒也, 浅利一善, 酒井 俐 (緯度観測所)

会場 B (1階中会議室)

第2日 10月13日(木) 午前9時15分より 会場 B

- B31 3α 反応と $^{14}\text{N}(\epsilon, \nu)^{14}\text{C}(\alpha, \gamma)^{18}\text{O}$ 反応の優劣: 上西啓祐, 荒井賢三(靑大理)
B32 超高密度物質の相転移と超新星爆発: 高原まり子(東大教養), 佐藤勝彦(東大理)
B33 間欠的ガス降着時の中性子星の熱的進化: 花輪知幸(東大理), 藤本正行(新潟大教育)
B34 重力成層磁気大気中の MHD ねじれ波: 柴田一成(愛知教育大), 内田 豊(東京天文台)
B35 磁気流体から成る降着円盤の非臨界解: 堀内利得(広大理論研)
B36 Black Hole 近傍の電磁場中における荷電粒子の運動: 矢吹洋一, 横沢正芳, 石塚俊久(茨大理)
B37 二次元超高速衝撃波による渦の形成: 石塚俊久(茨大理)
B38 Mass loss 直前の静的大気の構造について: 加藤万里子(東大理)

(休憩)

- B39 遷音速相似流: 福江 純(京大理)
B40 三次元的星風理論: 籾木 修(東北大理)
B41 非局所対流理論による太陽外包モデル: 海野和三郎(東大理), 近藤正明(東大教養), 熊 大閔(紫金山天文台)
B42 差動回転星における非動径振動: 安藤裕康(東京天文台)
B43 ガス円盤上の一本腕振動: 岡崎敦男, 加藤正二(京大理)
B44 FG Sge の流体力学的模型(II): 中田典規, 竹内 峯(東北大理)
B45 非共振的二重周期ケフェイドの可能性: 竹内 峯(東北大理)
B46 状態方程式の太陽固有振動数への影響: 柴橋博資, Noels, Gabriel(リュージュ大)

第2日 10月13日(木) 午後1時30分より 会場 B

- B47 Dwarf Nova における Disk Instability II: 嶺重 慎, 尾崎洋二(東大理)
B48 青色水平枝星における元素拡散現象: 小平桂一(東京天文台)
B49 M型巨星スペクトルの定量解析 III. N組成: 辻 隆(東京天文台)
B50 δ Sct 型星 20 CVn の視線速度変化: 西村史朗, 渡辺悦二, 湯谷正美(東京天文台)
B51 ϵ Aur の分光観測(II): 川畑周作(京都学園大), 斉藤 衛(京大理), 西城恵一(国立科学博物館), 佐藤英男(東京天文台)
B52 短周期非接触連星 RU Eri: 山崎篤磨(東大教養), 中村泰久(都駒場高), 北村正利(東京天文台)
B53 接触期における common envelope 中の圧力の効果: 中村誠臣(東北大理), 中村泰久(都駒場高)
B54 近接連星の形状歪曲星の重力減光: 北村正利(東京天文台), 中村泰久(都駒場高)
B55 実視連星 1 Gem (Kui 23) の視線速度: 石田五郎(東京天文台)

(休憩)

- B56 太陽ミリメートル波バースト: 小川英夫, 河鱈公昭(名大理)
B57 位置が変動する μ 波吸収について: 西尾正則, 柴崎清登, 鯨目信三, 高柳利男, 高田重利(名大空電研)
B58 太陽バーストの X線・電波フラックス関係: 甲斐敬造, 小杉健郎(東京天文台), 新田就亮(東大理)
B59 太陽マイクロ波バーストの分類について: 小杉健郎(東京天文台)
B60 X \cdot γ 線バーストとマイクロ波・ミリ波バーストの統一的解釈(II): 河鱈公昭, 鈴木育郎, 小川英夫(名大理), 吉森正人(立大理)
B61 X線放射と電波放射の関係: 鈴木育郎(名大理)
B62 太陽ガンマ線の発生と高エネルギー粒子: 吉森正人, 奥平清昭, 平島 洋(立大理), 近藤一郎(東大宇宙線研)
B63 荷電粒子エネルギー分布の時間的発展: 鯨目信三(名大空電研)
B64 高緯度太陽風(II): 柿沼隆清, 小島正宜(名大空電研)

会場 A (3階大会議室)

第3日 10月14日(金) 午前9時15分より 会場 A

- A67 気球による銀河面拡散光の近赤外偏光観測: 廣本宜久, 舞原俊憲, 水谷耕平, 高見英樹(京大理), 芝井 広, 奥田治之(宇宙研)
- A68 銀河中心核とバルジの星の種族: 長田哲也, 佐藤修二(京大理), 川良公明, A. R. Hyland(マウントストロムロ・サイディングスプリング天文台)
- A69 M型星のカタログ: 市川 隆(京大理), M. Raharto(Bosscha 天文台), 浜島清利(相山女学園高), 石田憲一(東京天文台), B. Hidayat(Bosscha 天文台)
- A70 太陽近傍星の光度関数: 石田憲一(東京天文台)
- A71 銀河の色合成: 有本信雄, 吉井 譲(東京天文台)
- A72 渦状密度波中の星間雲系の振舞: 富阪幸治(北大理)
- A73 多成分恒星系における等分配について: 稲垣省五(京大理), W. C. Saslaw(Virginia 大)
- A74 球状星団における重力熱力学的振動: 杉本大一郎(東大教養), E. Bettwieser(ゲッチンゲン大天文台)

(休憩)

- A75 無衝突系銀河に対する流体力学的取扱い(II): 青木信仰(東京天文台)
- A76 X線バーストと銀河中心までの距離: 戎崎俊一, 花輪知幸(東大理), 杉本大一郎(東大教養)
- A77 5百万年間の外惑星の数値積分——計算方法とその精度——: 中井 宏, 木下 宙(東京天文台)
- A78 冥王星と海王星の近日点の運動: 木下 宙, 中井 宏(東京天文台)
- A79 摂動関数展開の数値実験(II): 堀 源一郎(東大理)
- A80 積分不可能な力学系の解の自然境界: 吉田春夫(東大理)
- A81 土星衛星の軌道改良再考(1971年衝): 畑中至純(東京天文台)

第3日 10月14日(金) 午後1時30分より 会場 A

- A82 「てんま」による銀河団からのX線スペクトルの観測: 松岡 勝, 小山勝二(宇宙研), 北本俊二(阪大理), 他 てんま観測班
- A83 「はくちょう」によるガンマ線バーストの観測: 加藤政博, 村上敏夫, 西村 純, 山上隆正, 藤井正美, 伊藤真之(宇宙研)
- A84 X線バーストのスペクトル: 和気 泉(宇宙研), てんま観測班
- A85 X線バースト源のスペクトルの時間変化: 宮本重徳, 北本俊二, 常深 博(阪大理), 和気 泉(宇宙研), てんま観測班
- A86 「てんま」による Bulge X-ray source の定常X線スペクトルについて: 満田和久(宇宙研), 他 てんま観測班
- A87 Sco X-1 をはじめとする Bulge Sources の Fe K-X 線の観測: 鈴木一明, 小山勝二, 松岡 勝(宇宙研), てんま観測班
- A88 4U1624-49 のスペクトル: 小山勝二(宇宙研), てんま観測班
- A89 「てんま」に搭載した Transient Source Monitor による観測: 北本俊二, 常深 博, 宮本重徳(阪大理), 中川道夫(阪市大理), てんま観測班
- A90 X線源 2S1700-377 の周期性について: 村上敏夫(宇宙研), てんま観測班

(休憩)

- A91 X線パルサーのパルス周期変動: 牧島一夫(宇宙研), 長瀬文昭(名大理), ほか てんま観測班
- A92 X線パルサー Cen X-3 の観測: 三谷健司(宇宙研), 三好 蕃(京都産大理), 他 てんま観測班
- A93 「はくちょう」, 「てんま」による GX339-4 の観測: 前島幸彦, 牧島一夫(宇宙研), 他 てんまチーム
- A94 「てんま」による Vela X-1 の観測: 井上 一(宇宙研), 他 てんま観測班
- A95 Vela X-1 からの鉄の輝線の観測: 大橋隆哉, 榎野文命(宇宙研), 他 てんま観測班
- A96 HD77581 (Vela X-1) の紫外分光観測: 定金晃三(大阪教育大), 平田龍幸(京大理), 寿岳 潤(東京天文台), 近藤陽次(NASA GSFC), 松岡 勝, 田中靖郎(宇宙研)
- A97 磁気乱流による α の値について: 加藤正二(京大理)
- A98 磁場をもつ高温プラズマの電子-陽電子対: 楠瀬正昭(東大理), 高原文郎(東京天文台野辺山)
- A99 一樣磁場中の電子対消滅による γ 線発生: 橋本喜明, 山本隆男(弘前大理)

会場 B (1階中会議室)

第3日 10月14日(金) 午前9時15分より 会場 B

- B65 $H\alpha$ の微細構造と X 線 μ 波バーストの相関 III: 北原達正 (京大理), 黒河宏企 (飛騨天文台)
- B66 「ひのとり」による輝線スペクトルの観測 (X) カーブフィッティングによる解析: 秋田 亨 (東大理), 田中捷雄, 渡辺鉄哉, 守山史生, 西 恵三 (東京天文台), 他 ひのとりチーム
- B67 「ひのとり」による Hot Thermal Flare の観測: 常田佐久 (宇宙研), 他 ひのとりチーム
- B68 「ひのとり」による硬 X 線フレアの観測——硬 X 線持続時間によるフレアの性質の違い: 大木健一郎 (東京天文台), 新田就亮 (東大理), 他 ひのとりチーム
- B69 「ひのとり」による硬 X 線フレアの観測——非熱的電子ビームによる解釈: 新田就亮 (東大理), 大木健一郎 (東京天文台), 他 ひのとりチーム
- B70 高温コロナループの定常モデル: 高倉達雄 (東大理)
- B71 硬 X 線フレアの磁場構造: 桜井 隆 (東大理)
- B72 伝播ピンチによるジェット形成とループ・フレア: 内田 豊 (東京天文台), 柴田一成 (愛知教育大)
- (休憩)
- B73 黒点誕生に伴う磁東管浮上の観測: 黒河宏企, 一本 潔 (飛騨天文台)
- B74 単極黒点の速度勾配: 牧田 貢 (東京天文台), 川上 肇 (東大理)
- B75 Line ratio から求めた EUV weakening: 神野光男, 末松芳法 (飛騨天文台), 西川 宝 (京大理)
- B76 太陽紅炎の EUV Weakening の空間分布: 當村一郎 (京大理), 神野光男 (飛騨天文台)
- B77 太陽極紫外線の正確な取扱い: 西川 宝 (京大理)
- B78 静止紅炎の構造について: 金 甲星, 川口市郎 (京大理)
- B79 インドネシア日食観測 (1) 活動領域コロナ: 斎藤澄三郎, 船越康宏, 末松芳法 (花山・飛騨天文台)

第3日 10月14日(金) 午後1時30分より 会場 B

- B80 Balloon Observation of the Total Solar Eclipse on June 11, 1983, in Indonesia: H. Tanabe, S. Isobe (Tokyo Astronomical Observatory), H. Akiyama, Y. Koma, Y. Okabe, J. Nishimura (The Institute of Space and Aeronautical Science), T. Maihara, K. Mizutani (Kyoto University), J. Soegijo, T. E. Hariadi and LAPAN Balloon Team (The Indonesian National Institute of Aeronautics and Space—LAPAN)
- B81 気球搭載用日食観測望遠鏡の姿勢制御とデータ処理: 狛 豊, 秋山弘光, 岡部選司, 太田茂雄, 西村 純 (宇宙研), 磯部秀三 (東京天文台)
- B82 F コロナの可視光測光・偏光観測: 磯部秀三, 田鍋浩義, 平山智啓, 西野洋平, 佐々木五郎 (東京天文台), 狛 豊, 岡部選司 (宇宙研)
- B83 インドネシア日食気球による赤外観測: 舞原俊憲, 水谷耕平, 廣本宣久, 高見英樹, 長谷川博一 (京大理)
- B84 不均質塵の爆裂について: 向井 正 (金沢工大)
- B85 非一様大気の反射光強度に対する高精度解: 川端 潔 (東理大理)
- B86 原始太陽系における彗星の形成環境: 山本哲生 (宇宙研)
- B87 ヒル圏へのガス流入率: 関谷 実, 観山正見, 林 忠四郎 (京大理)
- B88 月食における地球大気の散乱効果: 佐藤 勲 (東大教養), 関口直甫 (東京天文台)
- (休憩)
- B89 写真法による月食の影の抽出: 中村 士, 野口本和, 平山智啓 (東京天文台)
- B90 Na を加えた SO_2 frost とイオの表面の色 (II): 稲吉 彰, 武部尚雄 (成蹊大工)
- B91 高感度 TV カメラによる流星観測: 古川 晃, 大木俊夫, 田中光久 (福島大教育), 富田弘一郎, 斉藤馨児 (東京天文台)
- B92 彗星のライマン・アルファ光のライン・プロファイル: 北村良実, 山本哲生, 足原 修 (宇宙研)
- B93 Comet Sugano-Saigusa-Fujikawa (1983e) からの分子線サーベイ: 長谷川哲夫 (東京天文台野辺山), 大石雅寿, 中井直正 (東大理), 鈴木博子, 森本雅樹, 海部宣男 (東京天文台野辺山), 坪井昌人, 仲谷真吾, 中川貴雄, 森沢勝郎 (東大理)
- B94 IRAS-Araki-Alcock 彗星の写真測光観測: 渡部潤一 (東大理), 斉藤馨児, 富田弘一郎, 高瀬文志郎, 渡辺正明 (東京天文台), 市川伸一, 仲谷真吾 (東大理)
- B95 Comet 1983d IRAS-Araki-Alcock の偏光観測: 菊池 仙 (東京天文台)
- B96 金星赤外偏光の短周期時間変化について: 向井苑生, 向井 正 (金沢工大), 長田哲也, 佐藤修二 (京大理)
- B97 火星大気中のダストの熱的効果 (II): 鳴海泰典 (九州東海大工)
- B98 土星の環の赤外輝度温度について: 川田剛之 (金沢工大)